



みさと

No.49

2017. 1

美郷町議会だより

バス交通を皆で考える年の始まりです

出初式の放水と三江線

第4回定例会報告	P 2 ~ 4
一般質問 -10人登壇-	P 5 ~ 14
集落営農組合って?	P 15
第2回臨時会報告	P 16 ~ 17
議会報告会特集	P 18 ~ 19
委員会室	P 20

合同視察研修報告	P 21
議会活動報告 (H28年10月~12月)	P 21
続 手前味噌ですが	P 22
議会Q&A	P 22
住民の声	P 23
編集後記	P 24

第4回 定例会報告

農機具装備で 新規営農組合を支援

上野・本郷営農組合

物森集落営農組合

※15ページに関連記事掲載

百笑未来・物森へ無償貸与

美郷町第4回定例会は、12月6日から14日まで開催され、条例案2件、予算案6件、一般事件案3件、意見書案1件が提案され、原案通り可決・承認しました。このうち、一般会計補正予算は1億1741万円の減額の補正予算が提案。また、意見書は、地方議員の「厚生年金制度」加入のための法案整備を求める内容で国に提出します。

予算案

一般会計補正予算の主なものとしては、除雪作業費などの道路維持費3855万円、9月大雨被害の復旧費1467万円、定住対策として空き家改修事業316万円、イノシシ・サルの駆除や、防護施設補助などの獣害対策として152万円など増額。

一方、国の交付決定額にともない、道路新設改良費としていた1億877万円が減額。また新エネルギー推進費として3133万円などを減額することを求めるもの。

12月補正予算の状況

(単位：千円)

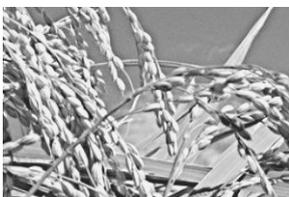
会計名	補正前の額	補正額	補正後の額	
一般会計	6,694,783	-117,415	6,577,368	
特別会計	住宅新築資金等貸付	2,359	-	2,359
	簡易水道事業	391,137	743	391,880
	下水事業	265,484	-114	265,370
	君谷診療所	5,262	-	5,262
	国民健康保険	809,942	84	810,026
	国保診療所	88,463	222	88,685
	後期高齢者医療	188,082	148	188,230
	合計	8,445,512	-116,332	8,329,180

条例案

職員給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正
 人事院勧告に沿った給料表及び期末手当の改正を求めるもの。

農業委員会の委員及び農地利用最適化推進員の定数に関する条例の制定

農業委員会等に関する法律改正に伴い、現在の13人の委員のうち7人が農地利用最適化推進委員と名前を変えて、農地の集積や遊休農地の発生防止・解消などを進めるため、新たに現場活動を行う改正を求めるもの。



一般事件案

財産の取得

- 大和診療所
- ・ 超音波診断装置一式購入
- ・ 取得金額 913万6800円



大和診療所の診療機械を更新

百笑未来営農組合

- ・ 共同利用農機具一式購入
- ・ 取得金額 1612万4400円

※15ページに関連記事掲載

惣森集落営農組合

- ・ 共同利用農機具一式購入
- ・ 取得金額 1022万2200円

※15ページに関連記事掲載

議案質疑

農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例関係

農業委員の能率給は

農地の集約化等で実績があった場合に支給

能率給として町長が定める額となっているが内容は、

産業振興課長

能率給は、農地の最適化を推進することで、担い手への農地集積、集約化、耕作放棄地の防止と解消、農業への新規参入の促進に実績があった場合に支給されるものである。

農業委員会の定数6人、推進委員の定数7人の割り振りは、

産業振興課長

現行の農業委員は13人だ。今回農業委員が6人、最適化推進員が7人の総数として13人とした。国の指導は、農業委員の定数は現行の半分程度とするとしている。

能率給の配分方法は、

産業振興課長

国からの推進交付金は一人当たり月2万円で3

割が活動実績払い、7割が成果実績払いとなっている。

農業委員は6人になって業務に支障はないのか。

産業振興課長

農地の集約化に関しては7人の推進員で活動してもらおう。100ヘクタールに1人が国の方針だが、美郷町の農地約700ヘクタールで7人の推進員となる。農業委員の6人は、農地法上の色々な手続を審議してもらおう。



耕作放棄地が増える中、農業委員会の役割は益々重要になります(現地調査)

平成28年度一般会計補正予算第3号関係

ふるさと雇用再生特別基金事業の償還金は

償還金は、会計検査の指摘による返還金

ふるさと雇用再生特別基金事業320万の償還金は、

会計検査の指摘による返還金ではないか。

産業振興課長

平成21年から平成23年に実施した、ふるさと雇用再生特別基金事業で会計検査により指摘を受けた金額の返還である。平成26年の5月に指摘を受けたが全国的に同じケースがあり今年度やっと指摘額が確定した。

道路新設改良費、1億877万円の減額の理由は、

建設課長

可能な事業量として要望していたが、国が減額割り当てしたものである。国の補正を期待している。

地域改善事業で不採択になった理由は、

建設課長

割り当てがなかったものである。

副町長

鳥根県内で地域改善対策事業による道路改良事業を実施しているのは、美郷町のみだ。全国的に地域改善対策事業のハード事業は予算が付きにくい状況になっている。

児童福祉費増額の理由は

保育所の入所児童数の増によるもの

児童福祉費のその他委託料が2667万3000円

健康福祉課長

入所児童数の増分で、当初予算の見込みは邑智保育園で115人を予定していたが、12月1日現在の入所者数が126人の11人の増。都賀保育園の児童数は、当初予算の見込みが40人であったが、12月1日現在51人の11人の増となったものである。



入所児童数の増加は定住施策効果の表れであり、嬉しい増額補正です

10人登壇 一般質問

質問の内容

- | | |
|---|-----|
| 1 旗根 正一 議員 | 5P |
| ①再生可能エネルギー事業について | |
| 2 波多野 康博 議員 | 6P |
| ①防災公園へ道路新設の考えは
②人口減少対策について | |
| 3 福島 教次郎 議員 | 7P |
| ①大雪対策は万全か | |
| 4 山本 貢 議員 | 8P |
| ①美郷町職員の人材育成について | |
| 5 岩根 和博 議員 | 9P |
| ①防火対策について | |
| 6 藤原 修治 議員 | 10P |
| ①10年後の人口目標4,000人達成できますか
②クマ対策は万全ですか | |
| 7 山本 幹雄 議員 | 11P |
| ①町独自の奨学金制度の創設を
②地域おこし協力隊に望むものは | |
| 8 栗原 進 議員 | 12P |
| ①若者定住住宅について
②テレビの視聴について | |
| 9 安田 勝司 議員 | 13P |
| ①美郷町内における公民館及び交流センターについて
②道路網の整備について | |
| 10 佐竹 一夫 議員 | 14P |
| ①将棋のタイトル戦の招致を | |

記事の内容

質問した議員が要約・整理したものを掲載しています。

各議員の質問の状況は、美郷町のホームページで閲覧できます。

発議・発委

■地方議会議員の厚生年金制度加入を求める意見書

12月15日最終日には、議員発委による意見書を1件提出し、全会一致で可決しました。

地方議会議員の厚生年金制度加入を求める意見書

地方分権時代を迎えた今日、地方公共団体に自由度が拡大し、自主性及び自立性の高まりが求められる中、住民の代表機関である地方議会の果たすべき役割と責任が格段に重くなっている。

また、地方議会議員の活動も幅広い分野に及ぶとともに、より積極的な活動が求められている。

しかしながら、昨年実施された統一地方選挙において、町村では議員への立候補者が減少し、無投票当選が増加するなど、住民の関心の低下や地方議会議員のなり手不足が大きな問題となっている。

こうした中、地方議会議員の年金制度を時代に相応しいものにする^{ふさわ}ことが、議員を志す新たな人材確保につながっていくと考える。

よって、国民の幅広い政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金制度加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年12月14日

島根県邑智郡美郷町議会

行政報告

■JR三江線について

平成30年4月1日をもって廃止の届出

「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」等に基づく対応

ア 「地域公共交通網形成計画」と「地域公共交通再

編実施計画」の策定のため、

法定協議会を設置

イ 11月11日、法定協議会

第1回

○協議会名称「三江線沿線

地域公共交通活性化協議

会」

○組織

会長…島根県地域振興部長

副会長…広島県地域政策局長

ウ 来年末までに七回程度の協議を行い、両計画の策定を予定

エ 両県は中国運輸局に対し、法定協議会とは別に、

鉄道事業法の通達に基づき「地元協議会」設置を申し

入れ

オ 地元協議会

○代替交通のバス転換に向

けた運行主体や運行ル

ト等の運行計画を決定

○中国運輸局長を中心に両

県知事、沿線市町の首長

等で構成

カ 今後は、この2つの協議

会がそれぞれの協議を進め

る

区分	請願・陳情の内容	提出者	審査した経過と結果
陳情	TPP協定を国会で批准しないことを求める意見書の提出について	島根県農民運動連合会 代表者 長谷川敏郎	不採択
陳情	安全保障関連2法案の廃案を求める意見書採択について	新日本婦人の会邑智支部 支部長 石橋由岐子	不採択

請願・陳情

※議案の賛否

提出された全議案は全員賛成につき、議員別の賛否表は掲載しません。

バイオマス発電には燃料チップの調達が重要、可能か

町及び隣接の市町の供給事業者と情報交換を進めている



旗根 正一 議員

問

再生可能エネルギープロジェクト事業で木質バイオマス発電基本調査、水力発電基本調査を実施している。

バイオマス発電事業の調査研究のため、町と町内外関係者等で、欧州の木質バイオマス発電施設等を視察された。

議員も江津市の島根森林発電所バイオマス発電施設と茨城県大子町の木質バイオマス発電事業所を視察した。

本町で同様のバイオマスガス発電を行うには、色々なまだ検討課題があると思う。

①視察した結果、燃料チップの調達が一番心配されるところであるが、具体的な原料の調達方法等について伺う。

②事業者としてエンジンパワー社を挙げているが、事業計画等の内容はどうなっているか伺う。
③発電により発生する排熱の利用方法等の考えはどうなっているか。

④欧州や大子町のバイオマス発電事業所を視察して、本町でのこの事業が可能であるかどうか伺う。

町長

①原料となる燃料チップは現在県内で、松江市と江津市のバイオマス発電所へ島根県素材流通協同組合が納入し、年間実績換算で、15万3000トンドである。

両発電所に納入している同協同組合からは、十分な供給量があり美郷町で計画している発電事業の供給に対し、異議はないとの内諾を得ている。

増量体制となる場合でも美郷町及び隣接の市町で、森林組合

が3組合、民間事業者も5事業者があり、情報提供、意見交換を進め検討している。

②株式会社エンジンパワーの事業計画は、木質バイオマス発電事業導入に関する調査及び基本設計業務の期間が2月末日となっており、成果品に対する審査会を3月中に行い事業実施の可否を決定する予定である。

③発生する排熱の利用方法は、発電所建設地により利用方法は変わる。予定地近接に温泉施設

や公共施設がある場合には、温泉水の加熱は冷暖房に利用できるが、施設がない場合には、農業施設での利用がもつとも現実的と考えている。

④欧州や大子町の発電施設に係る職員を派遣し、現地状況を見てきた。欧州ではプラン

トの稼働状況の確認、大子町では、プラントの改良の予定、プラント設備や配置、燃料チップ乾燥システム調整といった内容であっ

た。把握した状況や視点を踏まえ、事業の可能性の検討、関係者との協議を行いたい。

問

ガス化発電は、水分率を50%まで自然乾燥させた後に、チップ化して使用することになるが、50%までに下げられるには約半年間かかるという。大量に集積しておく貯木場も必要だと聞いているが対応は。

企画財政課長

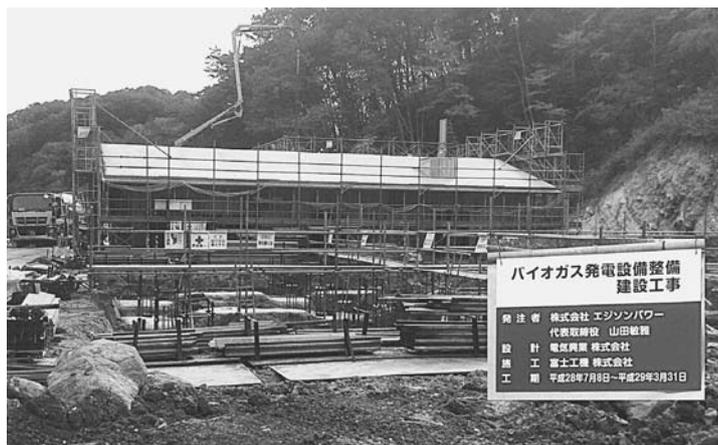
貯木場も十分視野に入れた計画をしているし、提案ではバイオマスガス発電の設備の中で廃熱を利用して乾燥するシステムもあると聞いている。降雪も考慮した屋根つきの貯木場も必要と思う。

問

大子町では、22業者で供給する協議会を立ち上げて、50〜100キロ圏内から供給を受けている。美郷町でも原料を供給する協議会等々の立ち上げが必要と思うが。

企画財政課長

木材の供給事業者か組合との供給提供を契約して、20年間の保障をしなければならぬ。邑智郡内、大田市、飯南町も含めた森林組合などから提供を受けるよう話をしている。



大子町に建設中のバイオガス発電施設



波多野 康博 議員

防災公園への 取付道路新設の考えは

今の段階では道路新設は無理



防災公園は災害時等の仮設住宅の建設、自衛隊などの受け入れが可能。公園内防災センターは、被災時に必要な物資の供給拠点と、防災無線等を使った避難住民との連絡通信機能があります。

問

平成25年、県下に先駆けすばらしい防災公園が完成したところである。緊急時に防災公園へ避難するとき、途中の道路等が崩壊または水没した場合には防災公園に行く手段が失われてしまう。

そこで四日市トンネル付近から四日市を横断し、防災公園までの取付道路が必要と思われるが、新設の考えがあるか伺う。

町長

防災公園への経路としては、浜原方面からは、町道上

川戸粕測線を、粕測方面からは、国道375号から町道粕測線、町道上川戸粕測線を、久保方面からは、国道375号から県道川本波多線・町道久保線を経由するルートがある。

国道375号は島根県緊急輸送道路ネットワーク計画に基づく第1次緊急輸送道路に、町道粕測三瓶線及び上川戸粕測線の防災公園までは、第2次緊急輸送道路に選定されている。災害発生時には優先してがれ

問

き処理をしているが、ハード事業だけでは限界があるので、それぞれの災害状況に応じ、適切な非難経路を選択できるような避難訓練等ソフト面での対策が重要であると考えている。

建設課長

災害時にはどういう災害がおきるか事前の想定が

人口減対策の効果は 定住住宅・協力隊・子育て支援で一定の成果

問

2015年国勢調査確定値が発表されたところだが、2010年国勢調査よりも少しは減少率が改善されていると思う。

これは若者定住住宅とかいろいろ施策の効果が出ていると思える。今実施されている定住促進の事業、又は過去においての実施状況等その効果はどの程度あったのか伺う。

町長

人口減少という結果を重く受け止め、さまざまな定住対策に取り組んできた。

若者定住住宅は、現在9団地を整備し、203人の方に入居していた。その内141人が町外からの入居で、この他

難しい。防災も必要であるが、最近では高規格救急車になっており、家の前まで入れないという状態があるため、まずは緊急車両の進入ができるよう幅員を改良していく計画なので、今、道路を新設する計画はない。

問

地域おこし協力隊の配置、子育て支援など一定の効果があったと評価している。

問

第2次長期総合計画では、10年後の人口を4000人という計画となっているが、昨年1年間の自然動態、社会動態の人数は。

定住推進課長

27年度の状況について、死亡が98人、出生が26人、自然動態で72人減であった。社会動態は、転入が県外から65人、県内から70人で合計135人の転入者があり、転出者は県内外へ160人で、25人の社会減であった。

自然動態、社会動態合わせて97人の減となっている。



福島 教次郎 議員

IP電話の停電対策は

孤立地域にバッテリーを設置する

問

大雪対策については、第3回定例会で詳しく説明を受けたが、その後のような対策をされたのか、また今後のような対策をしようとしているのか尋ねる。

美郷アプリが、11月広報に掲載された。ごみの出し方、保健対策は、非常に詳しく掲載されているが、冬期に一番知りたい交通情報は全くない。システムの改良の余地はないのか。また、危険箇所を通報すれば通報者に対し、何らかの回答メッセージがあるのか伺う。

町長 美郷アプリについては、多くの町民の方に利用してもらったため、ホームページやフェイスブックなどで周知を進めている。

このアプリは、生活に関することや防災情報などを取得できるものである。道路に関しては、危険箇所を通報してもらおうようになっているが通報に対する返信や通行止めなどの情報提供は機能的に出来ない。

問

IP電話は電気に弱いと聞いた。停電になり電気がこなくても、各家庭におい

て発電機があれば通話は可能となる。

汎用性は高いが孤立が予想される集落に対し、小型発電機器導入の補助は考えられないか。

町長 IP電話などが作動で

角谷線の倒木処理を早急に

地権者の協力を得て処理をしたい

問 1月の大雪被害による倒木が未だに撤去されずにある。

道路上の倒木処理に当たっては地権者にお願いや交渉などで大変な労苦があったと思う。

しかし、未だに崩土もそのまま、路肩は木材で埋め尽くされている路線がある。除雪が始まれば、そこだけは道路が狭くなることが容易に想像できる。早期に除去を実施されたい。

町長 1月の豪雪による倒木の処理はほぼ完了している。

一部路線において、地権者からの依頼により、路肩に積み上げている箇所がある。空き地がないため民地に積み上げてあり、これからの降雪により通行に支障が出るので再交渉をしたい。

きる専用のバッテリーを、携帯電話不感地域である、地域防災計画における孤立地域の世帯を対象に設置する。他の地域からも要望はあると推察するが、地域に限定して対応していく。

問

屋外にある一斉放送のスピーカーが取り付けられている柱の下には電話機があるが、どのようなときに使用するのか。

緊急事態が発生した場合の使用目的ならば、自治会長も使用方法を取得しておく必要があると思うが如何か。

町長 防災行政無線の屋外拡声器の電話機は、大規模災害などで、すべての通信手段が寸断された際の非常用通信として防災センターとの通話が可能となっている。また、拡声機としても使用できる。

全地域への周知ができていない状況なので速やかに、全地域の説明を終えたいと考えている。



倒木処理が待たれる道路状況

町の将来を託せるのは町職員 今必要なのは人材育成

予算確保と内容の充実をする



山本 貢 議員

問

美郷町の将来を託せるのは町職員であり、今なすべきは人材育成である。

①人材育成が必要な理由

今後、職員数の減少があっても、住民サービスを維持するためには、業務の優先順位の判断力があり、企画力が必要で、そのためには町職員の人材育成が不可欠である。

役場が魅力的な職場でないと働いてくれる人が減少していくという危惧がある。魅力的な職場とは、自分が成長し、自己実現が可能な職場である。

町職員の研修関連の予算額は28年度で246万9000円と少ないと思う。

教育は将来への投資。町長の考えを伺う。

②人材育成の具体的方法

当町には「人材育成基本方針」というマニュアルがある。

その内容は、人材育成の基本的な考え方・人材育成の方策・人材育成の推進体制等だ。このマニュアルをぜひ活用してほしい。

職員の教育には民間の視点を導入してもらいたい。公務員と

民間企業の差は、一つはチャレンジすることへの評価である。

また、陳腐化している事柄を発見する能力、これを止める決断力を職員の人材育成に取り入れてもらいたい。担当課長の考えを伺う。

③「目標による管理」の導入

人材育成と業務管理を結びつけるために「目標による管理」の導入を提案する。その定義は「組織の全体目標と個人目標を関連付け、しかも目標を達成することが人間として興味・欲求を満



役場は魅力的な職場ですか？

足させるための管理理論である」

具体的手法としては、上司と部下の面談が中心となる。目標設定時、達成指揮、結果の測定時の面談が重要である。個人別の能力開発必要部分等を確認しあい、美郷町にピッタリの新しい企画を考えてもらいたい。町長の考えを伺う。

町長

①職員の数減少だが、仮に職員数が減少する場合は、判断力、企画力などの能力は、一層重要になる。階層・役職に応じた研修、政策課題、専門業務に必要な研修の実施と業務を通じて能力を磨き発揮していくことは重要であり、今後の職員に必要かつ重要な能力などが開発されていくよう取り組みたい。役場を魅力的な職場ととらえ職員への就職希望者は多くなってほしいと考える。

研修関係の予算規模は総合すれば500万円相当になる。

研修では外部研修において対人能力や政策形成・業務遂行等のメニューを充実。町独自の研修は新たな施策や行政運営に係る内容で実施している。

人材育成、能力開発は重要で

あり、研修関係の予算の確保と研修内容の充実をめぐる。

総務課長

②当町では人材育成方針に沿って、職員と組織が全庁的、継続的に取り組んでいくこととしている。

この方針を踏まえ、研修体系計画を定めて、階層別や政策課題に応じた研修の参加・派遣や独自の研修を行っている。

28年度から実施を始めた人事評価について、この方針の内容・視点を踏まえて設計・検討しながら進めている。

民間に学ぶ点として挙げられたチャレンジすることや事業等の取捨選択、廃止等の判断は難しい面もあるが、重要な点でありより磨くなり、意識をしたい。

町長

③「目標による管理」については、町の総合戦略や総合計画、人事評価においてもその趣旨を取り入れており、職員ごとに目標を設定し、課長が面談をしながら業務にあたっていく。

施策や事業などが、成果を意識し取り組み、改善、進捗が分かるよう目標による管理の視点で取組んでいく。

地元災害に出動できる団員は

緊急出動できる団員が不足

岩根 和博 議員

問

消防団員が不足と云われているが、町外で働く団員や、受け持ち地域以外で働く団員もいる。

勤務の場合でも、仕事先が町外の方もおり、どの程度か把握していない。

火災発生時に直ちに出勤できる団員数はどのくらいの割合か。また、昼間の火災時についても伺う。

町長 4月1日現在の団員数は275人のうち約20%の団員が町外企業で勤務。町内企業で

特に大和地域は大和事務所分団が廃止となり、昼間の団員の不足が心配されており、今年10月下旬から、大和地域の昼間の建物火災発生時には、全分団に召集をかけて初期消火活動体制をとっている。

豪雨災害後の自然水利の点検は

地元消防団に水利の使用確認を依頼

問

最近集中豪雨が多く、川の堰や堰板等の被害状況の点検が来ているか。

町長 防火水槽171箇所・消火栓214箇所点検は年1回邑智、大和出張所で行う。

地元消防団は、随時点検や周辺の草刈りを実施。河川を利用する自然水利248箇所について

随時点検を実施。今後災害発生時には、地元消防団に協力を得て点検を実施していく。

火災報知器の設置状況は

アンケート結果87・7%設置済み

問

安心・安全で笑顔で暮らすには、町民自らも消防報知器や消火器の設置及び点検が必要と考える。

町として現在、住宅に義務付けられている火災報知器の設置状況を把握しているか。

町長 火災報知器の設置は平成18年の消防法改正により、寝

室がある全ての建物へ義務付けられている。江津邑智消防組合において、各イベント等の参加者を対象にアンケートを実施87・7%が設置済み、設置や点検の啓発は江津邑智消防組合が広報をしている。

健康福祉課長 火災が発生した場合の連絡が取れると考えられるので検討を進める。

自動車分団の車庫、移転のその後は

新築移転の方向で検討

問

昼夜問わず活動されている自動車分団の処遇改善が必要と考えるが、町長の考えを伺う。

町長 自動車分団については、邑智全地域をエリアに火災発生時に出勤し、

検・放水訓練に対し訓練手当を支給している。

自動車分団の車庫の改善については、分団員の意見・要望を聞きながら新築移転で検討する。

地元消防団・常備消防と一体となり消火活動を行っている。

活動が広範囲で出勤頻度や常備消防の補完的な位置づけを持ち毎月実施している水利点



新築移転が待たれる自動車分団車庫

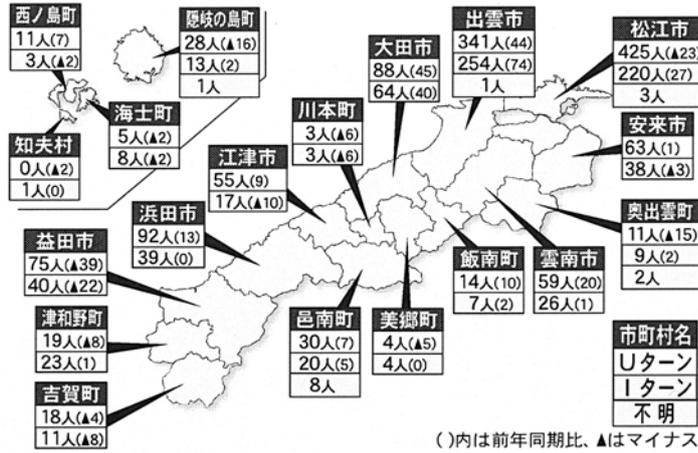


藤原 修治 議員

キープ4,000人達成は大丈夫か

最重要課題として取り組む

2016年度上半期の島根県内市町村のU・Iターン状況



11月24日、山陰中央新報社より

問

先日、県内上期のUターン状況で、美郷への定住者は8人という新聞記事が出た。この少ない数字に町民はショックを受けたのではないかと思う。

定住対策は町の最重点課題であり、第2次長期総合計画の基本構想では、10年後の人口目標を4000人とした矢先に、こうした報道がされたことに対し、所感を伺う。

町長

新聞の数字は、県下3番目に少ないものだった。この調査は、県が今後の人口減対策に生かすことを目的としている。国勢調査でも一定の結果が出つつあるとは考えるが、こうした報道を受け、更に充実した対策に取り組む必要を感じる。総合戦略の4000人キープの目標は、合計特殊出生率の改善、定住子育て支援策、雇用創出による人口移動の改善なくして達成できない。今後も町の最重要課題として取り組む。

問

定住推進課の事務分掌で公共交通、三江線関係があるが、これを定住課が持つべきと思うか。

定住推進課長

三江線も定住対策の一つに結びつくものと思う、与えられた事務分掌で、その成果が(新聞の数字)低いということであれば、もっと力を入れなければと思う。

問

10年後4000人達成のために、定住推進課が、定住施策に特化した体制であるべきだと思う。新聞の報道後、定住推進課の機構改革が必要だと感じたが、どのように考えるか。

問

今年熊の出没が多く、全国的には死亡に至る人的被害もあり、町でもクマの目撃情報が多発した。クマの脅威には、普段の生活における精神的な被害もあり、出没地域の住民は、クマに出会ったら...という不安の中での生活を余儀なくされている。増加するクマの出没に対し、共存は必要だが、人的被害が懸念される場合は、有害鳥獣駆除の観点が必要と考えられる。県の鳥獣保護計画の、クマの頭数調整を積極的に働きかけるべきと考えるが、所見を伺う。

クマの頭数調整を働きかけるべきでは 除去頭数の引き上げを要望する



クマの目撃情報は、宮内省比治山、都賀、沢谷、地域等で30件あった

町長

交通関係は、定住推進課が持つべきでないとの感じを受けるが、定住に関係するものだと思う。また、観光も同様である。色々な面でこの課は、非常に重要であると思っている。

だ。このことから有害鳥獣として駆除できず、事故につながるという見方をされている。11月末で、県内での捕獲頭数は226頭で、うち158頭が除去され、47頭が放獣された。町では7頭が錯誤捕獲され、除去処分2頭で、その他は放獣または脱出となっている。

クマ保護計画は29年から新たな計画が策定されるので、除去頭数の上限引き上げも、新計画策定に盛り込むよう要望する。

子供たちは宝 返済免除の奨学金で優秀な人材を町に

定住に結び付く給付型の奨学金制度を 検討する



山本 幹雄 議員



既存の奨学金制度の案内

問

美郷町の将来を担う子ども達は町の宝だ。10年後の人口を4000人として、子供たちが自分たちのふるさとである美郷町に、必ず帰って来るように、町独自の奨学金制度を創設してはどうか。

専門的知識を習得するための進学費用を貸し付け、町内で一定期間働いた場合、返済は免除する。というような奨学金制度は、優秀な人材を育てることになると思うが。

町長 地方公共団体が行う奨学金制度は、島根県内で、松江市、出雲市、浜田市、益田市、安来市、邑南町、吉賀町にあり、月額1万円から6万円程度で高等学校から大学まで対象と

なる家庭や学業の専攻分野によって様々だ。奨学金制度の多くは貸与型だが、寄付を基金にした給付型の奨学金制度もある。貸与型の奨学金も卒業後の地元定住を条件とした償還免除規定を設ける動きが多くなっている。美郷町の未来を担う人材

地域おこし協力隊の定住対策が必要では

補助金制度を創設し
任期満了後の起業を支援する

問

地域おこし協力隊の制度を導入して8年を迎えている。美郷町では地域おこしや、まちづくりに一定程度の成果は出ていると思う。地域おこし協力隊の制度は、美郷町にとって極めて有効な施策であり、定住をする隊員が増えるような対策が必要と考える。しかし、3年を経過せずに辞めた隊員や、定住した隊員は少ないように感じる。辞めていった大きな理由とこの対策、定住した隊員の数と今後の取り組みや計画を尋ねる。

町長 地域おこし協力隊は、国の制度発足当初から地域等の

育成と人口対策の観点から、定住に結びつくような町独自の奨学金制度を検討したい。

教育長 貸与型は、応募人数が少ないと聞いている。政府が平成30年度から行おうとしている給付型で、定住に重点を置いた奨学金制度にしたいと思う。

配置要望に基づき受け入れており、現在は6地域と3団体で21人の隊員が在籍している。これまでに67人の隊員を採用し、現役の隊員を除いた46人のうち、16人が3年の任期を満了、30人が中途退職者である。中途退職の割合は65・2%で少なくともは、退職の大きな理由は、受入側と協力隊とのミスマッチによるものが大きいと感じている。

要因は、受け入れ側と協力隊員側のニーズの違いによるものが多く、隊員募集に際し受け入れ側が求めるビジョンを明確にすることが必要と思う。定着をした隊員は7人で、定着率は43・



地域おこし協力隊事務所

8%となり、島根県の平均定着率は39%なので、任期満了者の定着率は高い方だ。定住に向けての最大の課題は、任期満了後の就労の場と住居の確保であると考え。就労先の確保と国の財政措置がある地域おこし協力隊起業支援補助金制度を創設し、任期満了後の起業に対する支援をする予定だ。

問

専門的知識や技術を持った人を採用し、空き家対策として古材をうまく活用しながら、空き家をリニューアルするというのはいかがか。3年間に何軒かできるのではないか。

町長 そういう仕事は町内にもあると思う。町内で就職してもらい生活ができるということになれば良いと思う。努めてその方向で募集したいと考える。



栗原 進 議員

若者定住住宅の取り組みは 若者世帯のニーズに応じて検討



都賀本郷若者定住住宅

問

町長は施政方針の中で、若者定住住宅の成果を述べ、長期総合計画にも若者定住住宅の事業は継続して行うとしている。

成果があれば課題もあると考える。今後の住宅の取り組みについて伺う。

町長 建設は、都賀本郷に3戸、九日市地区に5戸の建設を見込み、潮地区は、町道二タ合線の道路改良工事の完了後とし、平成29年度中の造成工事の完成を目指す。

また、平成30年度に住宅の建設を予定、早期に入居者の募集を行い、入居者の見込みを計りながら進めていきたい。

事業開始から10年を迎え、他の自治体での取り組みの状況

や、若者世帯のニーズに応じて変更も検討していく必要があると考えている。

問

建設戸数は45戸、入居者数は203人、町外からの入居者は141人、町内は62人と聞いている。この事業は人口減に歯止めをかけるため、町外からの若者の定住を図ることが、大きな目的であったと承知をしているが、町内からの入居が多いと思う。事業を始めて10年になるが、成果をどのように考えているか伺う。

町長 人口減少率が平成10年に、美郷町が県下ワーストワンのこと踏まえ定住住宅を建ててきた。

成果は邑智小学校の3年生が2クラス、来年少ってくる新入生も2クラスになると聞いている。効果があったと感じている。

定住推進課長 アンケートをとったところ「地域が明るくなった」「子供の声が聞こえる」そのような声が多く寄せられた。

現在、45戸建築し当時は177人であったが、その後子供が27人生まれ人口の社会増もみられ一定の成果があったと思う。

問

町内からの入居は家族が離れて住宅に入ることになり、双方で生活になれば、将来は片方が空き家になることが考えられる。町は空き家対策に取り組んでいるが、空き家が増えることには懸念を

している。

定住推進課長

空き家になるという懸念は承知をしている。募集の段階で家庭の事情等を審査会で聞きながら入居を決定し、そのような方には町営住宅などの斡旋を進めていきたい。

広島ホームTVの視聴は

今後の検討課題としたい



県外波は受信できない田の原中継局

問

県内の各市町においてはケーブルテレビなどの普及により民放4局が視聴できるような整備が進んでいる。町内の若者から民放4局の視聴ができないかとの要望をよく聞く。

若者定住を課題とする当町であり、整備が必要と考えるが町長の所見を伺う。

町長 平成22年に地上波デジタル放送の再送信を難視聴対策として講じ、県外放送局の再送信は実施しないことでサービス

問

邑智基地局での広島ホームテレビの受信は可能か伺う。

企画財政課長

広島ホームテレビは県外波であり、邑智基地局での受信は出来ない。

問

郡内の他町では視聴が可能な若者への投資という事からも整備を検討されたい。

町長

これからの時代は、考えていかなければならない問題であるということは理解をしている。今後の検討課題としたい。



安田 勝司 議員

交流センターのない地域の対応は 公民館として人的配置を行う

問

公民館及び交流センターで、人的配置がある施設数と業務内容を伺う。

交流センターのない地域についての対応を伺う。

町長 公民館は沢谷、君谷、別府、都賀、比之宮、都賀行の6館と都賀行公民館潮分館を合わせて計7館だ。

沢谷、君谷、比之宮、都賀行の4館は、交流センター業務を兼ねて行っており、集落支援員を各1名配置し、センター所長と公民館副館長の業務を行っている。

また、この4館には公民館主事を各1人配置し、2人の嘱託職員で窓口業務と社会教育の業務を行っている。都賀公民館は大和事務所長が公民館長を、一般事務職員が公民館主事を兼務している。都賀行公民館潮分館は、事業実施補助のために週に1日程度、臨時職員を配置している。

近年公民館のコミュニティセンター化が進んでいるが、小さな拠点づくりが目指す持続可能な地域づくりで、公民館を中心とした地域ネットワークと地域課

題への取り組みが、重要視されている。

一般的に、公民館は小学校エリアごとに配置されるものだが、美郷町の場合、社会生活圏から考えて旧小学校エリアごとに配置し、エリア内の自治会や各種団体と連携をしながら、地域づくりを進めていく必要があると考えている。

交流センターのない地域は、地域づくりを美郷町全域で進めていくために、拠点を整備していくことは必須であると考えている。新たに交流センターを置くことは困難だが、公民館としての人的配置を行い、学びの場を拠点とした地域づくりを強力に推進して行きたい。



連合自治会事務所

問

教育長 教育委員会としては、公民館は美郷町内全域に置いて、地域活動の拠点としたい。吾郷地域、粕刈地域、浜原

地域には公民館がないので、公民館として支援員を副館長に兼ねて1人配置できるように、今後検討していきたい。

川本波多線の進捗状況と 国道375号の見通しは

竹工区は平成30年度に供用開始の予定

問

主要地方道川本波多線竹工区の進捗状況と今後の見通しを伺う。

町長 国道375号の湯抱工区の進捗状況、また湯抱から粕刈までの今後の見通しを伺う。

町長 県道川本波多線竹工区の進捗状況は、山の切り取りと現道の嵩上げ工事を行っているが、引き続き橋台取り付け部の補強度壁が発注予定だ。

建設課長 平成29年度の予算で上部工の着手となる見込みである。平成30年度の後半にこの区間の供用開始ができる見込みである。

抱2工区は、川を切りかえた箇所土を盛りたてるといふ特殊工法を使った工事を行っているが、引き続き果瀬橋の手前の山切りを発注してもらう予定だ。



改良が進む川本波多線の竹工区

粕刈境から湯抱方面に向けて詳細設計の測量が発注になっている。

Aコープから上流の保育所までの区間が粕刈2工区という名称で詳細設計が進んでいる。

保育所からさらに湯抱境までは、粕刈1工区は歩道がない2車線改良という形で進めていくが、既に詳細設計が終わり用地測量を発注する段階になっている。



佐竹 一夫 議員

将棋のタイトル戦を

町民・各種団体等の寄付金が必要

問

相変わらずの人口の減少が続く、JR三三線の廃線も決まり、あまりいいことがない我が町だが、ここでちょっと変わったところで将棋のタイトル戦を招致したら、全国的に新聞等で報道され、美郷町を全国に広めて行けると思うが町長の考えを伺う。

町長 将棋に関連したイベントは、小ささまざまなものが日本全国で行われている。

鳥根県では、本年7月に隠岐の島町で第87期棋聖戦が開催された。産経新聞と日本将棋連盟が主催し、地元では実行委員会を組織して運営に当たり、その際の総経費は約600万円と聞いている。

これは町から補助金300万円、寄付金200万円、鳥根県から補助金50万円、その他入場料で賄われたようだ。

タイトル戦を招致した場合、経費と人的負担はすべて地元で掛かってくるので、費用対効果など事前に十分検討する必要がある。

こうしたタイトル戦の開催については、日本将棋連盟で毎年

募集をしており、観光地のイメージアップや、記念イベントとして人気があるが、隠岐の島の例では、地元有志の方々が積極的に働きかけられ、民間主導で進められたと聞いている。

町民から強い要望があつて、役場と一緒に成し遂げるといった機運を助成し、官民が共に汗を流してこそ、美郷町の活性化に繋がるものと考えている。



さんべ荘で開催された対戦記念の駒

問

将棋というのは、小さい頃は、縁台でよくやっ

たものだ。

将棋人口は1年に1回以上将棋を指す15歳以上は1985年に1680万人いたが、2006年には710万人と約半分になつていた。

インターネットでも出来る囲碁は60歳代が行い、将棋は10歳代に人気がある。将棋のタイトル戦には7大タイトル(名人戦、竜王戦、棋聖戦、王座戦、王位戦、棋王戦、王将戦)がある。これは賞金ランキングによって決まっており、強い人はここに出る。

今、町長が言ったタイトル戦だと、私の知人で日本棋院(将棋連盟)の専務理事と親しい方がおり、その先生からのメールを見せてもらった。隠岐の島町では初めてなので、来た人全部の費用負担をして前夜祭も派手に行われた。

また昨年、飛騨高山で行われた時は県知事も来られ、前夜祭では飛騨牛を500人、600人にふるまわれており、こうしたことをやれば600万円はかかる。しかし名人戦や竜王戦でも300万円ぐらいで出来る。

町長は機運が盛り上がりげに言うことだが、読売、朝日、毎日、産経など大手新聞社主催であり、やれば美郷町の名前が全国に広まると思う。美郷町の名前を全国に売るにはいい機会だ

と思うし、人脈もあり申し込みをすれば開催できると思うが町長の考えを伺う。

町長 隠岐の島の例を答弁したが、やはり、かなり町民の皆様や各種団体等の方からの寄附等がないとできない。

また費用対効果などを考え、十分検討すると共に、美郷町を売り出すには非常に効果があり画期的なことで十分考えて行きたい。

問

何年前にさんべ荘で対戦があり、その時は羽生さんが来られ、県内各地から将棋ファンが多く来られた。羽生さんは将棋界ではトップだ。

こうした対戦には過疎債は使

用できないか。

企画財政課長 事業に関しての起債で、例えば将棋の駒を作っているとか、材料を作っているとか、将棋に係る経緯があれば過疎債でどうかと思うが、今の段階では過疎債の運用は無理と考える。

QUESTION

集落営農組合って？

集落営農組合で農地を守りましょう

集落営農とは、「1集落または複数の集落を単位として組織された営農組合等を中心に、集落ぐるみで地域全体の農業生産の効率化と所得の向上を図り、合理的な農業を展開していく営農」のことです。

- ① 具体的な活動内容としては、効率的・計画的な土地利用
- ② 機械・施設の共同利用
- ③ オペレーターの確保・能力や適正（兼業農家高齢者、女性等）に応じた農作業の分担
- ④ 高収益作物の導入などの取り組みがあります。



貸与される農機具

- また、機械の利用方法や運営方法等により、
- ① 機械を共同所有し、共同利用・共同作業を行う「共同利型」
- ② 機械を共同所有し、特定のオ

ペレーターが農作業を実施する「作業受託型」

③ 機械利用や農作業だけではなく、土地利用や農産物の販売・出荷も一元的に行う「協業経営型」の3つに分けることができます。



農機具倉庫

町内の集落営農組合の状況

美郷町内には平成7年度に設立された（農）ひじきドリームから、今年度設立された惣森集落営農組合を含め、17の集落営農組合が設立されており、そのうち3組織が法人組織として活動されています。

美郷町では平成12年度から集落営農確立事業（集落内農家の2/3の参加や、5人以内の担い手グループに3ha以上の農地集積を図る等の条件を満たし、新たに設立された集落営農組織に共同利用農機具一式及び農機具格納庫が無償で貸与する）を実施しており、（農）ひじきドリームを除く16組織については、本事業を活用し営農を展開されています。

今年度設立された組合の紹介

百笑未来営農組合

法人化でパワーアップを目指す

都賀本郷と上野の農家99戸の内89戸が加入し、水稲面積21haに及ぶ広域の組合です。

耕作継続が集団化できる制度で、担い手育成の原動力にも貢献します。

更なる飛躍を目指して

百笑未来のネーミングは、この町が好き、住む人が好き、農業を守り育て、笑顔で未来を拓くをキーワードにして命名しました。

本年早々に法人を立ち上げる予定です。



惣森集落営農組合

若さで住み良い集落作りに向けがんばります

惣森集落は、戸数12戸で住民と猪と猿が暮らす山に囲まれた小さな集落です。

もろうのために、今、自分たちに出ることをやろうと集落営農を設立することになりました。

水田面積は8.7haで水稲5.1ha、残りは野菜や自己保全管理を集落全員で行なっています。

担い手も30代から40代が中心です。

各世代の若者がいて1歳から18歳まで子供が13人います。この子供達が今後この惣森に住んで



第2回 臨時会報告

町長の報酬 30%カットを承認

人事案件

副町長・樋ヶ司氏を選任 教育長・田邊哲也氏を任命

第2回臨時会は、10月9日に行われた町長選挙、また、議会議員補欠選挙後の10月28日に招集され、補選議員2人の議席と所属常任委員会の指定、関連して5人の議員の議席の変更を行いました。引き続き、条例案1件、人事案件4件が上程され、すべて原案どおり可決・承認しました。

予算案

■特別職の職員で常勤のもの
給与及び旅費に関する条例の
一部を改正

【内容】

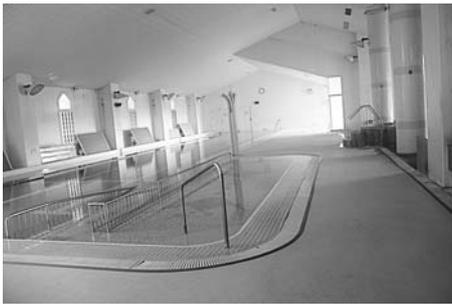
- ①町長報酬月額 30%（22万2000円／75万円）減額
- ②期間 町長任期中
- ③理由（提案説明の要約）
住み良い町づくり、町の将来のために、先頭に立ち、全力で取り組む決意から、若者世代のために活用する事業の財源とするもので、具体的事業については検討・協議中。

町長選挙の政治姿勢としての約束であり、また自身の思いから実施するもので、町職員はもとより、他の職種の給料、報酬に影響させる考えはない。

一般事件案

■工事請負契約の締結
ゴールデヌートピアおち給湯設備更新工事

経年使用の劣化に伴って、ろ過器及び源泉の送水ポンプが不具合を生じている。また職員の長年の経験によって行っていた各浴槽の水位の調整についても制御設備を更新する。



温水プールなどへの給湯設備の更新が決まりました

副町長の選任

現副町長任期が、平成28年11月5日をもって満了となるため、次期副町長の選任について議会の同意を求められたもの。

樋ヶ 司氏 再任
任期4年（3期目）

固定資産評価委員の選任

現固定資産評価委員任期が、平成28年11月5日をもって満了となるため、議会の同意を求められたもの。

樋ヶ 司氏 再任
任期4年（3期目）

教育長の任命

現教育長（教育委員）任期が、平成28年11月5日をもって満了となるため、新たな法制度の下、教育長の任命について議会の同意を求められたもの。

田邊 哲也氏 再任
任期3年（4期目）

※ 本任期まで、教育長は、教育委員として4年任期で任命され、教育委員の互選により就任していたが、法改正により、町長が3年任期で任命することになった。この改正にあわせ、教育委員長職は、教育長と統合され廃止、教育長が教育委員会を代表する職となった。

教育委員の任命

田邊積教育委員（教育委員長）任期が、平成28年11月5日をもって満了となるため、新たな教育委員の任命について議会の同意を求められたもの。

芦矢 修司氏 新任
任期4年

（乙原在住）小学校長、町各種委員歴任

議案に対して討論が行われました

同意第6号
教育長の任命について

反対討論



佐竹 一夫 議員

大和地域において、現教育長を再度、任命すべきではないという多くの意見があり、選任すべきは適当でないという判断をする。

賛成討論



山本 幹雄 議員

長い経験による、県との人脈などから、小中学校に良い先生を招いている。学校問題に対する対応も素早く、子供達も素直に育っており、任命には賛成する。

議案の賛否 ○賛成 ●反対

議案等番号	事 件 名	山本 貢	波多野康博	福島教次郎	栗原 進	藤原修治	岩根和博	山本幹雄	安田勝司	黒川民次郎	籾根正一	佐竹一夫
議案第61号	特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第62号	工事請負契約の締結について（ゴールデンユートピアおおち給湯設備更新工事	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第4号	副町長の選任	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第5号	固定資産評価員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第6号	教育委員会教育長の任命	●	●	○	●	○	○	○	●	○	○	●
同意第7号	教育委員会委員の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議員補欠選挙に伴い委員会構成が新しくなりました

◎委員長 ○副委員長

総務委員会

町の将来構想など政策や企画に関すること、防災など総務に関することなどを審査します。(8人)

- ◎岩根 和博 ○栗原 進 西嶋 二郎
- 佐竹 一夫 籾根 正一 黒川民次郎
- 安田 勝司 波多野康博

教育民生委員会

小中学校運営・生涯学習・図書館・スポーツ振興など教育委員会に関すること、障がい者や高齢者福祉、介護保険・子育てに関することなどを審査します。(8人)

- ◎山本 幹雄 ○藤原 修治 西嶋 二郎
- 安田 勝司 岩根 和博 福島教次郎
- 波多野康博 山本 貢

産業建設委員会

農林水産業・商工業・観光などの振興や、道路管理・上下水道の整備などを審査します。(8人)

- ◎籾根 正一 ○福島教次郎 佐竹 一夫
- 黒川民次郎 山本 幹雄 藤原 修治
- 栗原 進 山本 貢

議会運営委員会

議会を円滑に運営するための委員会です。(6人)

- ◎佐竹 一夫 ○福島教次郎 籾根 正一
- 黒川民次郎 山本 幹雄 岩根 和博

広聴広報委員会

議会の情報を発信(広報)することにも、広く町民の意見を把握し、審議に反映(広聴)させるための委員会です。(6人)

- ◎藤原 修治 ○岩根 和博 山本 幹雄
- 栗原 進 福島教次郎 山本 貢

予算決算委員会

予算・決算審査をするための委員会です。(11人)

- ◎黒川民次郎 ○栗原 進
- 以下全議員(議長を除く)

新議員紹介

よろしくお願ひします



議席番号 1

やまもと みつぐ
山本 貢

(高山)

教育民生委員・産業建設委員
広聴広報委員・予算決算委員

38年間の小売企業勤務
町行財政改革審議会の経験を活かした活動します。



議席番号 2

はだの やすひろ
波多野 康博

(信喜)

総務委員・教育民生委員
予算決算委員

新人議員として多難なこともあると思いますが、初心を忘れずに頑張りたいと思いますので、よろしくお願ひします

全議員参加で開催を

11月30日、みさと館及び大和事務所で「議会報告会」を開催しました。
邑智会場では、地域の諸事情等もあり参加者が少なかったと感じましたが、大和会場では参加者も多く、予定時間をオーバーする活発な内容でした。

特集

開催 11/30

邑智会場

熱心な議員とのやりとり

空き家対策は

■参加者

「特定空き家」対策が進んでいない。議員主導でやれないか。

●議員

個人の所有でもあり、難しい問題である。常に念頭に置き町に要望していく。

今後の農業は

■参加者

リースハウス事業等、今後の農業の方向性はどうか。

●議員

リースハウスは57棟建設を目指し、将来の展望で農作物を考える。鳥獣害の問題もある。

●議員

葉草の町づくりを目指し、勉強会も開催。これも一つの方向性だと思ふ。

商工支援は

■参加者

粕洲にはレストランなどもない。定住といっても魅力ある町にはほ

ど遠い。小売りが苦戦しているが支援の方向性は。

●議員

商工支援としては機械や冷蔵庫整備に対して助成策がある。

大和荘のこれからは

■参加者

老朽化した、大和荘の建て替えは、来年度着工と聞いているが。

●議員

営業しながらの建て替えかなど、検討時間が必要で、見直しをしている。当初の話から変わってきている。

各種の発電事業は

■参加者

木質バイオマス発電事業について、視察の感想は。

●議員

「安定的な材料の供給ができるか」を固めることが大切。町は専門職員を雇用し対応している。

■参加者

町の水資源を活用したらどうか。JAから発電施設を受け継いでいかかか。

●議員

JAが手放したい時もあった

が、今は難しいと思う。町は水力発電事業についての可能性を検討中である。

視察結果を活かせ

■参加者

視察をどう活かすのか、視察結果を示してほしい。

●議員

大子町への視察結果は議会だよりに掲載。視察で学んだことは審議の中で活かしている。

政務活動費は慎重に

■参加者

政務活動費のルール作りはどうなっているのか。

●議員

条例化がまだなされていない。議会運営委員会で議論する。

●議員

ルール作りには、監査の中味、チエック機能も含め、議運でしっかりと協議していきたい。

■参加者

条例ができないと支給されないのか。

●議員

支給はできない。

■参加者

政務活動費の報告はどうするのか。

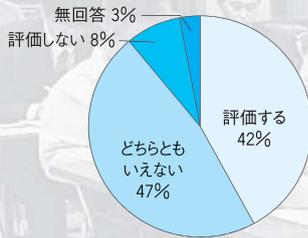
●議員

証書類を添付し報告書を提出し、1年に1回以上、政務活動による活動状況を、町民に報告するよう議会基本条例で規定している。

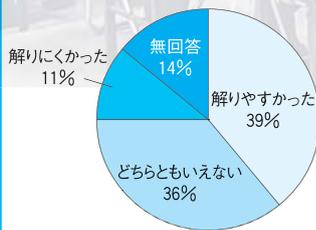
議会報告会

参加者 45人 (前回 51人)
邑智地区 17人 (前回 (5月) 27人)
大和地域 28人 (前回 (5月) 24人)

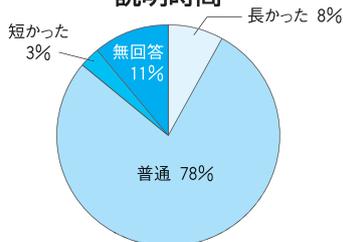
当日の評価は？



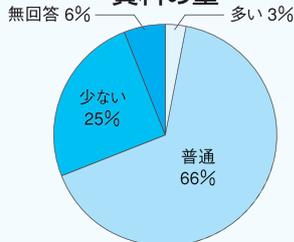
説明の解りやすさ



説明時間



資料の量



町内2か所

大和会場

熱心なやり取りで 一般質問が2日間につながりました

議会報告会後にあった、第4回定例会の一般質問は2日間に亘りました。

報告会における、多くの貴重なご意見やご指摘等が、今回の2日間に及ぶ、議員の町政への活発な質問戦につながったと感じています。

議会報告会アンケートより

- 議会への質問なのか、町への質問となる内容が多い。
- 報告会は分かりやすい、参加者人数を気にせず継続を。
- 笑える話もあり身近な報告会だった。
- 視察研修について具体的な内容と、今後行政にどう反映させるのかを詳細にしてほしい。
- 会場は2か所にするより、全議員で開催してほしい。意見もその方が活発に出ると思う。
- バイオマス発電は近隣の住民が「迷惑を感じない施設」としてほしい。
- 診療所の診療時間がはつきりすぎて来院者が大変減少していると聞く、考えていただきたい。
- 政務活動費は県内にオンブズマンもあるから慎重にお願いしたい。ルールを事前に知りたい。
- 議員報酬カットを復元されてはどうか。● 政務活動費、政党助成金は計上すべきでない。
- 他の自治体では議員になる人材がいなくなっている現状がある。将来的には定数を減らし報酬を十分出して専念してもらっては。● ボランティア化するなどを考えていくべきかと。
- 美郷町の全ての行事について、議員の方は先頭に立って参加してほしい。
- 活発な議会活動を期待しています。● 選挙前、議員討論会を開催してほしい。
- 出た意見をよく検討していただきたい。● 議会だより読みやすく良いと思う。



委員会室

総務委員会

定例会にて委員会に付託された条例案1件と予算案1件を審議しました。条例案は人事院勧告に基づくもので問題はなく、一般会計予算案の主な審議は次のとおりでした。

国と会計検査院との見解決着による返還金

ふるさと雇用再生特別基金事業償還金320万円の内容は平成21年～23年の企業2社との3契約において、2年前の会計検査院で支出が不適切と判断されたものでした。

今回、国と会計検査院との見解の相違が決着したので、この度返還することになりました。当初、事業申請に基づき、町と

して事業決定をし、完了報告を行ったので企業2社に対して返還を求めめることは出来ません。

定住推進関連経費

316万円の内訳は

町内の40歳以下の方や、Uイーターン者向けの定住者用住宅改修工事に要する経費の半額（最高50万円）を補助する経費として、不足の5件分250万円を予算化。



空き家バンク登録を支援

空き家バンク登録を前提とした新規事業で、空き家の利活用推進のための補助に要する経費として、家財等処分費用（最高10万円）3件30万円、ハウスクリーニング費用（最高10万円）3件分30万円、空き家の維持管理費用（最高月額1万円）3件2月分6万円を予算化。

教育民生委員会

付託された予算案3件と一般事件案1件を審議しました。

その中で国民健康保険の28年度上半期医療費の状況について説明がありました。

医療費は県内でも上位影響は大きい

国民健康保険と医療費の動向は次のとおりです。

国民健康保険は、持続可能な医療保険制度を構築するため、平成30年度から県保険者となり一本化されます。

そのため検討組織を設置し、事務処理や保険料、医療費の適正化などの検討が行われています。

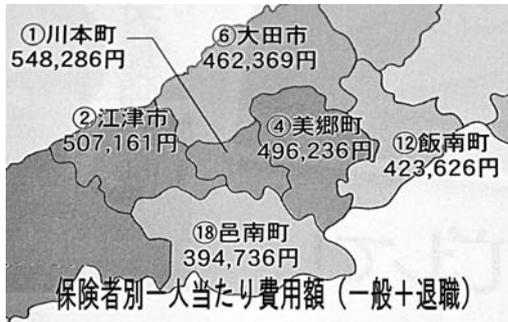
保険料は、当面は各市町村の医療費水準を反映した保険料率とし、将来的には統一保険料率を目指す方向とすることで検討が進め

られています。

保険料率を算定するにあたっては、各市町村の医療費水準が大きく反映されることとなります。

なお、美郷町の一般分と退職分を合わせた、一人当たりの最近の医療費は、平成27年度、49万6236円（4位）※県平均42万7050円

このように、本町の一人当たり医療費は県内でも上位にあり、しかも年々増加している傾向にありますので、広域化後の保険料の算定に与える影響は大きなものがあると考えられます。



産業建設委員会

所管する産業振興課・建設課の重要課題をピックアップし、事業の進捗や取り組み状況を調査しました。

農業委員会の仕組みが変わります

委員会に関する法律改正が行われ、これまでの選挙制から地域推薦や応募による町長の任命制になります。



農業委員会による現地調査

農地等の利用最適化（担い手への農地の集積や遊休農地の発生防止・解消等）を進めるため、新たに現場活動を積極的に行う農地利用最適化推進委員を農業委員が委嘱します。

現在の農業委員は、平成29年7月31日で任期満了となります。

酒谷石原統合簡易水道事業の進捗は

石原簡易水道の水源が枯渇しつつあり、周辺での水の確保が困難なことから、隣接している酒谷簡易水道より浄水を受けて統合し、維持管理の合理性、管理体制の一体化が図られています。

さらに、生活様式の近代化により水需要が増加した為、水量拡張を行うことを目的に23年度に着手、水道管総延長1万7039mのうち682・6m配水池1池、電気設備1式を残し29年度完了を目指しています。



酒谷第3配水池はステンレス製

合同視察研修報告

・茨城県大子町で建設に動き出した事業現地を視察
・千葉大学の植物工場研修棟を視察

平成28年11月9～11日



建設中の発電施設

町が計画中の「木質バイオマスガス化発電」誘致に関し、茨城県大子町の「再生可能エネルギー施策」を視察、林野庁出向の同町課長より事業説明を受けた。

同町では「だいが再生可能エネルギー協議会(22社)」を設立し、燃料の安定供給を可能にしたこと。

参入業者への町の協力は、町有地の提供、水道の代替として温泉水の供給など。事業効果は雇用の創出、山林所有者の木材有利販売、排熱を他の事業に利用してもらう、

バイオマス発電を調査

稼働時期は29年3月予定などの説明を受けた。

質疑のなかで、業者の木材搬出用道路開設には町助成はない。原木集荷は大子町50kmの範囲で県外から約40%の集荷を考えている。発電で心配されるタールは、燃焼炉で燃えるため多くは発生しないとのことであった。

美郷町での事業実施のポイントは、燃料(原木)の安定調達、排熱利用が可能な環境となるか、騒音・異臭の環境アセスメントをクリア出来るか、原木乾燥保管のストックヤードの整備等のハードルを、いかに解決するかにあると感じた。

施設は建設中で全容の見学は出来なかったが、町が計画中の重要案件であり、今回の視察で学んだことは、今後の事業実施に大いに参考になる研修であった。

植物工場研修



千葉大学の植物工場研修棟

千葉大学にある「人工光型レタス栽培棟」を視察した。

発砲スチロールで出来たハウスで、耐震性や断熱性が高いため室温を保ちやすく密閉空間にすることで無農薬栽培の実現が可能となる施設だった。

通常のハウス栽培に比べ通年栽培の優位性があり、当町の積雪の多い地域での取り組みには、メリットがあるが、施設のコストが高く、収益性のあるものにする必要があると感じた。

しかし、その設置の容易さから、災害時の避難場所やイベント利用など、アイデア次第では農業外での利用も面白い、近未来の農業施設の研修であった。

議会活動報告 (H28年10月～12月)

日付	場所	活動内容	日付	場所	活動内容
10月					
3	美郷町役場	広聴広報員会	14	美郷町(みさと館)	美郷町開発公社理事
11	松江市(タウンプラザしまね)	島根県町村議会議長会全議員研修会	17	松江市(タウンプラザしまね)	正副議長・正副委員長研修会
12	美郷町役場	広聴広報員会	18～19	東京	全国過疎地域自立促進連盟総会
18	山口県萩市	可燃物処理施設先進地視察	20～21	東京	東京大和会総会
20	美郷町(みさと館)	宮崎県高原町議会視察	22	美郷町役場	全員協議会
26～27	東京都(シェーンパッハ・サボー)	全国町村議会広報研修会	30	美郷町役場	広聴広報員会
28	美郷町役場	第2回臨時会	30	美郷町(みさと館・大和事務所)	議会報告会
28	江津市(江津邑智消防組合消防本部)	江津邑智消防組合議会	12月		
11月					
7	川本町(合同庁舎)	邑智郡議会議員研修会	6～14	美郷町役場	美郷町議会第4回定例会
8～11	東京・大子町	全国町村議長大会 先進地視察(大子町・千葉大学)	21	川本町(悠邑ふるさと会館)	邑智郡総合事務組合議会
12	美郷町(ゴールデンユートピア)	ふるさとツアー歓迎会	22	江津市(江津邑智消防組合消防本部)	江津邑智消防組合議会
13	美郷町(邑智小学校)	産業祭(みさとふるさとまつり)	22	邑南町(公立邑智病院)	邑智病院組合議会
			16	美郷町役場	広聴広報員会
			26～28	美郷町役場	広聴広報員会

【続】手前味噌ですが…

焼きおにぎりも六次産業

昨年に続いて産業祭を盛り上げようと議員全員で参加した。今年も気合いが入ったの参加だ。焼き鮎と焼き鳥は去年と同じ数だが、焼きおにぎりは販売個数を200個にし、醤油味と味噌味のセットにした。そして値段も2個で300円、漬物を添えパックに入れて販売。みんなで開会式に参加してから一斉に炭を起こし、焼き鮎、焼き鳥、焼きおにぎりの販売を開始した。自分の担当は焼きおにぎり、と言うのもF議員と無農薬の米を作っているからだ。したがって焼きおにぎりは体



鮎の塩焼きも焼き鳥も好評



こだわりの焼きおにぎり

に優しい完全無農薬である。醤油はちよつと高級な味噌とザラメで作ったかえし、味噌は手作り味噌に味噌を加えた「手前味噌」である。さらにおにぎりを焼く網に塗るのは、無農薬栽培のアブラナから絞ったなたね油とこだわり、これを売りにした焼きおにぎりは好評だった。焼き鮎、焼き鳥と一緒に売れ行きは好調だ。焼きおにぎりには行列ができる。醤油の焼ける匂いは猫にマタタビのようなもの、惹かれて並んでもらい次つぎと買っていた。残り少なくなったので並んだ人達に買って貰える数を確認、私たちスタッフのまかない分まで販売する羽

目になった。12時過ぎには焼き鳥と焼きおにぎりは完売となった。焼き鮎も1時過ぎには売り尽くした。安心・安全の焼きおにぎりは3万円ほどの売り上げになった。

使用した米は6kg、普通に販売すると1500円ほどにしかならないが、少し手を加えると3万円の収入になり20倍である。そうだがこれがこれからの農業になる六次産業化なのだと実感した。美郷町の農業にどれだけの、どんな付加価値を付けるのが、これからの課題であり責任なのではとふるさと祭りに参加して強く感じた。

この度の売上げ金の中から経費を除いた収益金、2万8013円はチャリティショーで全額寄付させていただいた。

(山本幹雄記)



寄付金は社協会長へ

シリーズ 第5回

議会 Q&A?!

Q. 議員報酬は??

A. 美郷町議会議員の議員報酬は、条例で次のように定められています。
 ◎議長・・・293,300円 ◎副議長・・・244,400円
 ◎各委員会委員長・・・209,600円 ◎議員・・・204,700円
 その他、6月・12月には期末手当が支給されます。

Q. 交通費や日当は出るの?

A. 日当は出ませんが費用弁償として、自宅から役場までの距離に応じて交通費が支給されます。

Q. 年金はもらえるの?

A. 地方議会議員の年金制度については、平成23年6月1日をもって廃止されました（既に議員を退職され、退職年金等を受給されている方については、継続して給付がされています）。

美味しいね！優しい味だね！

「工房さくら」創業 山根 信子



シフォンケーキのお店「工房さくら」を始めて、もうすぐ10ヶ月。この年齢で自分のお店を持つなんて、正直自分でもびっくりしています。



私がお菓子作りを始めた原点は母にあります。子供の頃、

母は身近にある材料を工夫して色々なおやつを作って食べさせてくれました。メリケン粉（小麦粉）にアンを入れてドーナツ型にして焼いた物や油で焼いた餅に生姜入りの砂糖醤油をつけた物など…素朴ではありましたが、母の想いがいっぱいだった優しい味のおやつでした。

私も母となり、母が私にしてくれたように子どもと一緒にお菓子づくりをしていました。しかし「あんぱん」や「ウイン

ナーぱん」は硬くなり上手く出来ないので、いつか美味しいお菓子が作れるようになればなあと思っていました。

退職し、やっと自分の時間が持てるようになったこともあり大田市サンレディのお菓子作り教室に8年間通い、ケーキやパンをはじめ色々なお菓子づくりを教わりました。

その中でも、私はシフォンケーキを作るのが一番好きです。シフォンケーキをつくる過程で生地が少しずつ膨らんで「ふわふわっ」なシフォンケーキに焼きあがっていく様子に幸せを感じます。

ケーキは知人や友人に配ったり、自治会の行事で使ってもらったりし、食べた方からは「美味しいね」と言ってもらい



「シフォンケーキ」はここホネで作られます
工房さくら

が中心でしたが思った以上に好評で、「美味しいね」と声をかけていただきました。リピーターのお客様や個別注文の数が増え、これ以

嬉しく思っていました。

みさとカレッジ普及科（みつばち・薬草・食品加工）の講座を受け、身近な薬草の活用や地元農産物を使った商品づくりと食品加工技術等を勉強するうちに、「体に優しい食材と無添加にこだわったシフォンケーキ」として商品化することを勧められました。

不安はありましたがお菓子製造業の許可がある大和農産加工センターに協力していただき試験的に販売してみました。

各種イベントや町内の産直市が中心でしたが思った以上に好評で、「美味しいね」と声をかけていただきました。

1月に広島で開催される「しまねフェア」に参加し、シフォンケーキと一緒に美郷町の特産品を多くの方にPRしていきます。

上の注文を受けることはできないと思っていました。

町の「美郷町特産品加工施設整備支援事業」の補助金を受け、自宅の敷地内に小さな加工場を建設、平成28年3月「工房さくら」をオープンすることができました。

今はプレインのシフォンケーキがメインで、薬草・薬樹の郷ならではの「薬草シフォンケーキ」（薬草茶の原料となるカワラケツメイやエビスグサ種子の粉末入り）や柚子の皮と果汁をたっぷり使った「柚子シフォンケーキ」を「だいわマート」「みさと市」で販売しています。

これからも母の想いと「美味しいね。優しい味だね。」の言葉を力に、「心を込めたお菓子づくり」を続けたいと思います。最後にお菓子づくりを教えてくださいました講師の先生方、いつも応援してくださる方々、そしておやつを作ってくれた母に感謝です。

1月に広島で開催される「しまねフェア」に参加し、シフォンケーキと一緒に美郷町の特産品を多くの方にPRしていきます。

議会だよりモニターが決まりました

- 牛尾 輝夫さん（石原）
 - 梅田 信雄さん（楯谷）
 - 澤田 吉一さん（都賀行）
- よろしくお願ひします。

議会傍聴に
来てみませんか

議会の様子は生中継や録画放送でも見られますが、議場の雰囲気は、画面だけでは伝わりません。議員の生の声・表情を見学してみませんか。

議会見学・傍聴の出入りは会議中でも自由です。個人で、団体が気軽にお出かけ下さい。



テレビ画面とはひと味ちがう本会議場

【お詫言】

議会だよりNo.47号（平成28年9月1日発行）P18に誤りがありました。

議会の生放送が見られる場所は、正しくは「大和事務所」ではなく「大和診療所」です。お詫言して訂正します。

謹賀新年

本年もよろしくお願ひします

美郷町議会議員一同



鳥のように空高く
羽ばたく年に
頑張ります

波多野 康博

誠実であたたか味の
感じられる議会活動
をまいります

栗原 進

全ては住民の「笑顔
の暮らし」のため

藤原 修治

地味でもいい、まっ
すぐに着実な一歩を
進みたい

福島 教次郎

「着眼大局」古希の
一年生議員
がんばります

山本 貢

美郷町に住みたいと
思う町づくりに努力
します

黒川 民次郎

あなたの声を議会に
反映します

佐竹 一夫

初心を忘れず頑張ら
ます
今年もよろしく

安田 勝司

この1年が美郷町に
とって良い年になり
ますように

西嶋 二郎

安全で安心して暮ら
せる地域づくりに努
めてまいります

旗根 正一

議会改革もう一步
美郷を変えよう！

山本 幹雄

今年は年男
住民の声を西入れて
頑張ります

岩根 和博

編集後記

10月の町会議員の補欠選挙で当選して、3ヶ月が経過した。

当選する以前に持っていた議会・議員に対するイメージが大きく崩れ続けた期間であった。

①集合時間前集合がとにかく早いこと。朝が強いと夜が弱いかと思いきや、夜も強い。

②研修の多さ… 県内町村議員研修、郡内3町議員研修に加えて「議会基本条例」の解説・説明。勉強好きでないと務まりません。

③議会だよりの作成姿勢がすごい。年末3日間、年始2日間の編集会議「この内容では読んでもらえない」の決めセリフにメンバー奮起奮起。盆も正月もなかった現役時代を思い出す。

④パワフル… 産業祭の売店販売で感心。元気の源は夕食にあるのか皆さんよく食べます。

⑤タブレットを使いこなす。はっきり言って若くない方も多いのに。この魅力的な人間集団を理解するには少し時間がかかりそうです。新年を迎えてはや20日。そろそろ本気を出しますか。

山本貢記